

1. 車椅子製造研修



講師、研修生自己紹介

自己紹介、今回の研修の趣旨を改めて説明し、目的を確認した。日本製車椅子を前にして、その機能性に驚く研修生たちもいた。



各部品の特徴について解説

日本製の車椅子の修理、メンテナンスを行うということで、各部品の特徴について細かく解説が行われた。研修生たちからも細部についての質問が出ていた。



車椅子のメンテナンス

実際にメンテナンスを行う。練習用として、リハビリテーションセンターにある痛んだスポーツ用車椅子を修理する。激しい動きを支えるスポーツ車なので、キャスター部分等の痛みが激しい。バランスに配慮して、細部までメンテナンスしていく。



研修生の車椅子をメンテナンス

講師から、ビジネスとして、車椅子のメンテナンスを行う場合、特にどこに注意してメンテナンスしないといけないか、という話があった。そのアドバイスをもとに、研修生が使っている自分の車椅子で確認しながら、メンテナンスを行った。

2. 美容研修



基本的なシャンプー

初心者の研修生がお互いにシャンプーの練習を行っている。ラオス人指導員、第2期からOJTを続けている研修生たちが、アドバイスを行う。



実際のお客様にサービス

実際のお客様に来店してもらい、シャンプー、ブローなどのサービス、また接客技術を学ぶ。研修生同士でしているときと、緊張感が違う。



カラーリングの指導

日本人美容師から、実際の液剤を使っでのカラーリングの指導。髪の毛の質と液剤の強さ、染髪時間等のバランスを考えて、お客様の要望の色に染める。頭の部位によって、染まるスピードが違うので、液剤を塗る順番も大切。



メイクアップの指導

日本人美容師による、結婚式等のためのメイクアップの指導。どのように顔に立体感を出すのか等、具体的にメイクをしながらの指導であった。研修生たちも興味津々で、説明を聞いており、すぐにグループに分かれて、自分たちで試していた。

3. ベーカリー研修



ケーキ作りの指導

日本人パティシエが指導するということで、ケーキ作りを習いたいという声も出た。実際にレシピをメモするところから始まり、焼き上げるところまで、研修生たちは真剣な目つきであった。



研修生たちによるクッキー作り

研修生たちが自分たちで実際に絞りクッキーを作ってみる。最初なので、うまく絞れないが、OJTを続けている研修生たちがきれいに絞るので、コツなどを聞いていた。



基本のクッキー作り

OJTを続けている研修生たちが、基本となるクッキー作りを教える。簡単に見えるが、なかなか均等な太さの円柱にすることができない。しかし、全員が楽しそうに、それぞれのクッキー種を作っていた。



新しいクッキー作り

新しく日本人パティシエから習ったクッキーを新しい研修生たちに指導する。簡単な作業もあるので、知的障害のある研修生たちもしっかり作業工程に入って、実際に作りながら、学んでいた。

4. IT 研修



IT ワークショップの説明

日本人専門家により、IT 研修の位置づけ、どのようなビジネスを目指すべきか等の説明が行われた。IT と聞くと、パソコンの操作を習うというイメージを持っている研修生もおり、実際にどのようにして仕事に繋げるかという説明に興味を持って、聞いていた。



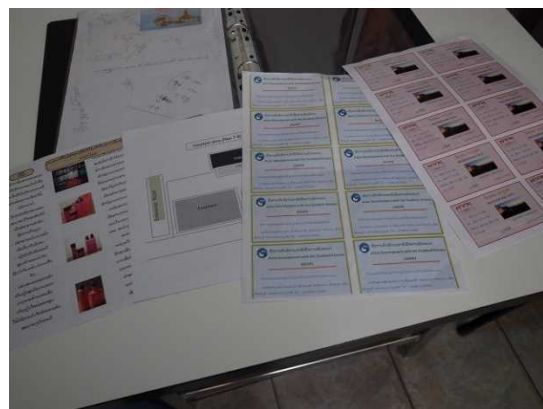
基本操作の説明

パソコンをあまり習熟していない研修生のグループには基本的なパソコン操作の説明、実践が行われた。最初は苦戦していた研修生たちも、徐々に慣れていった。



クッキーラベルの印刷

実際にベーカリー部門のラベルを印刷し、みんなでカットする。プリンターの特徴もあり、なかなかモニターと同じ色が出ず、試行錯誤しなければいけない。実際にクッキーに貼られて、売り出されるので、カットするのも慎重である。



研修中に仕上げたパンフレット等

研修中、それぞれのレベルにあった課題を製作する。美容、ベーカリー部門のパンフレットや、名刺、チラシ等である。自分の作ったものをみんなで共有し、アドバイスや改善点を言い合っていた。

5. シェンクワン就労支援セミナー



ビエンチャンでの事業説明

ビエンチャンで実施している事業の説明を行った。研修を受けて、やりがいのある仕事に就いている障害当事者の姿見て、個人的に問い合わせにくる人もいた。



個別相談

自分の子どもが障害を持っているので、研修に参加させたい、自分が研修に参加したい、という人たちに対して、スタッフが個別に相談にのった。その後、研修に繋がった人もいる。

6. ルアンパバーン就労支援セミナー



就労支援セミナー

ラオス北部で障害者支援に関係のある人たちが集まった。障害当事者、家族、行政関係者、村長など、それぞれの立場から意見を出し合い、交換した。



ワークショップ

それぞれの地域ごとに小グループを作り、地域の障害者支援について、話し合った。最終的にアクションプランが示され、地域ごとに発表し合った。

7. 日常のOJT



カラーリング

ウィックに、安価なトリートメントをカラー剤に見立てて、塗る。髪の毛に塗った時点から化学反応は起こり、髪の色は変わっていくので、時間を測って、行う。



クリスマス用クッキーの試作

クリスマス用のクッキーを試作している。販売するためには、1パックあたりの重さを均等にする必要があり、型抜きした大きさの異なるクッキーをどのようにパック詰めすれば、きれいで、均等になるのか、試行錯誤する。



冊子作り

資料の作成の注文が来て、カラープリントし、資料を綴じている。たくさんの資料を順番通りに綴じる作業をしたことがなく、苦戦していた。就労支援スタッフが順番に資料を並べて、それを順番に取っていく、というところから、説明しながらの作業である。



パンフレット用写真撮影

ベーカリー部門のパンフレットをIT部門が作成する。写真撮影も自分たちで行う。日本の雑誌を参考にしながら、レイアウトを行った。また、光の調整が難しかったが、模造紙を工夫して、特設の撮影会場を作り出していた。



ハンドクラフトフェスティバルに出店

多くの人が集まるハンドクラフトフェスティバルに出店する機会を得て、実際にクッキーを売りながら、お客様から直接フィードバックをもらうこともでき、自分たちが作ったものを、販売し、お金を得るといふ、一連の流れを経験できた。



クリスマス用のクッキー

クッキーをベーカリー部門が作り、クリスマス用のパッケージを IT 部門がデザイン、印刷し、一般販売用のクリスマスバージョンのクッキーを作った。12 月初旬から OJT の一環として、取引を行っている店舗、カフェ、企業等で販売する予定である。